

老人と障害者の自立のための

39th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2012

会 期：2012（平成24）年9月26日(水)～28日(金)
会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）
出展社数：約540社・団体（日本482社・団体、海外58社）※見込み
開場時間：午前10時～午後5時
入 場 料：無料（登録制：当日または事前）
主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【開催内容】（予定）

- ①福祉機器約20,000点を総合展示
- ②国際シンポジウム：「税と社会保障の改革で財政危機と高齢化に立ち向かう ～デンマークの取り組みは日本に生かせるか～」(27日)を開催。H.C.R.WEBサイト (<http://www.hcr.or.jp>) に詳細をUP。
- ③H.C.R. セミナー：
福祉職から一般、福祉利用者、家族を対象に、「腰痛を予防する介護の方法」「有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の現状と選び方」「生活保護3兆円の衝撃」「福祉施設でのサービス向上のための創意・工夫（①危機管理に対する取り組み ②ケアの場面における創意・工夫 ③地域社会との関わりやセーフティネットづくりに向けた取り組み）」「社会福祉施設等における生きものの活用」「感染症の知識と対応」など、保健・福祉・介護をテーマに連日開催。H.C.R.WEBサイト (<http://www.hcr.or.jp>) に詳細をUP。
- ④出展社によるプレゼンテーション
- ⑤H.C.R. 特別企画
 - (1)はじめての福祉機器選び方・使い方セミナー：
基本動作編、自立支援編、住宅改修編から10コースを設定して講義を実施。
 - (2)高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー～片手で使えるモノ展：
高齢者や障害者の日々の生活を便利にするグッズや工夫がなされた製品の紹介コーナー。今回は片手で使うのに便利な製品に展示テーマを絞り込み、「片手で使えるモノ展」として開催。
 - (3)知っているとこんなに便利！IT機器の福祉的活用講座：
携帯電話やスマートフォンなど身近な機器による福祉的利用方法についての解説・実演。
 - (4)ふくしの相談コーナー：福祉機器や自助具などの相談コーナーを設置。
 - (5)障害児のための「子ども広場」：子ども用福祉機器の展示に加え子どもにあった福祉機器相談・療育相談も実施。
 - (6)福祉機器開発最前線：現在開発中の製品や新発表の福祉機器のデモンストレーション・展示。
 - (7)高齢者世帯向けの手軽な日々の食事～市販の弁当・惣菜も工夫しだいでこう変わる：
市販の弁当や惣菜も工夫次第で栄養バランスの採れた食事に。とくに飲み込む力が弱い方でもおいしくいただける食事の調理法を実演・紹介。
 - (8)ふくしの防災・避難用品コーナー：福祉施設向けの防災用品や被災地で役立つ福祉機器を紹介。
 - (9)被災地応援コーナー：東日本大震災で被災した東北地方のセルフ（障害者授産施設）製品を販売。

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

H.C.R.2012 特別企画のお知らせ

展示会との併催でホール内特設会場において行う本年度の各種「特別企画」は、さらに内容の充実をはかり以下の日程・内容にて実施いたします。

◆開催日：2012年9月26日(水)～28日(金) (※期間中3日間をとおして設営)

◆会場：東京ビッグサイト

東3ホール内(特別会場A)、東6ホール内(特設会場B、C)の3か所

時間	テーマ	対象者	セミナー、デモの有無	会場
11:00～16:30	はじめての福祉機器選び方・使い方セミナー (全10プログラム)	一般、福祉利用者 者・家族向け	セミナー	特設会場 A (東3 ホール内)
10:00～17:00	高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー ～片手で使えるモノ展～	一般、福祉利用者 者・家族向け		
12:00～16:40	知っているところなのに便利! IT機器の福祉的活用講座	一般、福祉利用者 者・家族向け	セミナー	特設会場 B (東6ホ ール会議室)
10:00～17:00	ふくしの相談コーナー	一般、福祉利用者 者・家族向け		特設会場 C (東6 ホール内)
10:00～17:00	障害児のための「子ども広場」	一般、福祉利用者 者・家族向け		
10:00～17:00	福祉機器開発最前線	一般、福祉利用者 者・家族向け	デモ	
13:00～14:00	高齢者世帯向けの手軽な日々の食事 ～市販の弁当・惣菜も、工夫しだいでこう変わる	一般、福祉利用者 者・家族向け	セミナー	
10:00～17:00	ふくしの防災・避難用品コーナー	一般、福祉利用者 者・家族向け	デモ	
10:00～17:00	被災地応援コーナー	一般、福祉利用者 者・家族向け		

※会場は変更となる場合があります。

※「セミナー」「デモ」の印の企画の詳細なプログラムについては、次頁以降をご確認ください。

特設会場 A (東 3 ホール内)

1. はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー **手話通訳**

「基本動作編」「自立支援編」「住宅改修編」の3編をさらに10のテーマに分類し、以下の時間帯でセミナーを開催します。

26日 (水)	11:00～12:00 「住宅改修」 首都大学東京 健康福祉学部准教授 橋本 美芽氏		13:00～14:00 「トイレ・排泄用品」 NPO 法人 日本コンチネンス協会 牧野 美奈子氏		15:00～16:00 「入浴機器」 高齢者生活福祉研 究所所長/ 理学療法士 加島 守氏	
27日 (木)	11:00～12:00 「ベッド」 福祉技術研究所(株)代 表取締役 市川 洸氏		12:30～13:30 「リフト等移乗用 品」 福祉技術研究所(株)代 表取締役 市川 洸氏		14:00～15:00 「車いす」 (財)武蔵野市福祉公 社作業療法士 堀家 京子氏	15:30～16:30 「自助具」 ヒューマン ユニ バーサルデザイ ンオフィス代表 岡田 英志氏
28日 (金)	11:00～12:00 「福祉車両」 国立障害者リハビリテー ションセンター自立支援局自 立訓練部機能訓練課 自動車訓練室 熊倉 良雄氏 国立障害者リハビリテー ションセンター病院リハビリ テーション部副理学 療法士長 岩崎 洋氏		13:00～14:00 「杖・歩行器等 補助用品編」 高齢者生活福祉研 究所所長/ 理学療法士 加島 守氏		15:00～16:00 「コミュニケーション 機器」 東京大学先端科学 技術研究センター 人間支援工学分野 教授 中邑 賢龍氏	

定員 200名 (※自由参加、先着順にご案内いたします。)

その他 副読本あり (注1)

2. 高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー ～片手で使えるモノ展～

高齢者や障害者の生活を便利にすることを目的とした福祉用具や用品を展示する本コーナーでは、本年度は、ブース内を一日の生活のなかのいくつかの具体的な場面に分け、場面ごとの便利グッズや製品を紹介いたします。片手で使うのに便利な製品に展示テーマを絞り込み、「片手で使えるモノ展」と題して開催いたします。

(企画・監修：共用品推進機構、協力：日本作業療法士協会)

特設会場 B (東 6 ホール内、ガレリア入口横)

3. 知っているといかに便利！IT 機器の福祉的活用講座 手話通訳

私たちの日常生活では、携帯電話やインターネットが不可欠です。こうした IT 機器などのテクノロジーは、障害のある人や高齢者の介護・生活支援においても有効に活用することができます。携帯電話やタブレット PC、ゲーム機やデジカメなど、使い方を少し工夫するだけで、障害がある人や高齢者の暮らしを大きく変える可能性があります。

本講座では、知っているとい便利な身近な IT 機器の使い方をご紹介します。

26 日 (水)	12:20～12:50 「タブレット PC でコミュニケーション～iPad と新しい Taking Aid」 田代洋章 氏 (e-AT 利用促進協会)	14:20～14:50 ゲーム機を福祉に活かす～キネクトを使った重度肢体不自由支援 巖淵守 氏 (東京大学)	16:10～16:40 タブレット PC と障害児支援～iPad を魔法の筆箱や魔法のじゅうたんに変える 中邑賢龍 氏 (東京大学)
27 日 (木)	12:00～12:30 タブレット PC や携帯電話のアクセシビリティ～障害のある人が iPhone や iPad を使うには？ 田代洋章 氏 (e-AT 利用促進協会)	13:30～14:00 デジカメや IC レコーダと認知障害支援 中邑賢龍 氏 (東京大学)	15:00～15:30 PC のアクセシビリティ～障害のある人が Windows を使うには？ 近藤武夫 氏 (東京大学)
28 日 (金)	12:20～12:50 ゲーム機を福祉に活かす～キネクトを使った重度肢体不自由支援 巖淵守 氏 (東京大学)	14:20～14:50 タブレット PC や携帯電話のアクセシビリティ～障害のある人が iPhone や iPad を使うには？ 田代洋章 氏 (e-AT 利用促進協会)	

定員 90 名 (※自由参加、先着順にご案内いたします。)

特設会場 C (東 6 ホール内)

4. ふくしの相談コーナー

技師、作業療法士などの専門家が、福祉機器や自助具に関わる来場者の相談に無料で応じます。

5. 障害児のための「子ども広場」

障害のある子どもの発育段階において、福祉機器の利用は成長と生活において大きな可能性を拓けるものです。

そこで、子ども向け福祉機器の開発・普及を目的に「子ども広場」を会場内に設置して子ども向けの福祉機器を総合展示するとともに、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーなどを設けます。

◆福祉機器展示コーナー

終日展示。展示製品について、下記時間帯に説明を聞くことができます。

- ①車いす ②バギー・歩行器 ③いす・カーシート
④学習機器／コミュニケーション機器 ⑤食事用具・食器／衣類・靴

	11:00～12:00	15:00～16:00
9月26日 (水)	○いす・カーシート ○学習機器／コミュニケーション機器 ○食事用具・食器／衣類・靴	○車いす ○バギー・歩行器
9月27日 (木)	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○学習機器／コミュニケーション機器 ○食事用具・食器／衣類・靴
9月28日 (金)	○いす・カーシート ○学習機器／コミュニケーション機器 ○食事用具・食器／衣類・靴	○車いす ○バギー・歩行器

◆相談コーナー

下記時間帯に、各種相談できます。

9月26日(水)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
9月27日(木)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
9月28日(金)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00

※療育相談と福祉機器相談について、それぞれ2名の担当が配置されます。

(協力:横浜市リハビリテーションセンター)

◆ひとやすみコーナー

保育士が常駐しています。広場のおもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者(親)のみなさんと子育てについてお話ししましょう。(協力:東京都社協保育士会)

6. 福祉機器開発最前線 **手話通訳***

企業・研究機関の研究開発、試作状況などの情報提供や紹介の場として、最新の機器や製品の展示及びデモンストレーションを行います。

7. 高齢者世帯向けの手軽な日々の食事～市販の弁当・惣菜も工夫したいでこう変わる **手話通訳***

一人暮らしや高齢者夫婦だけの世帯では、食材が残る、張り合いがない、つくるのが大変などの理由で毎日の食事をつくる機会が減っています。スーパーの総菜やコンビニの弁当で済ませることが多くなり、栄養バランスも心配しなければなりません。

ここではコンビニの弁当やスーパーの惣菜をもとにしつつ、ひと工夫を加えることによって栄養のバランスがとれた食事にし、健康的な食生活をおくることを学びます。

◇講師 虎の門病院栄養部

※自由参加、先着順にご案内いたします。

8. ふくしの防災・避難用品コーナー **手話通訳***

昨年の東日本大震災や異常気象による被害で多くの福祉施設が被害を受けたことを踏まえ、今後の災害に備

えるため、福祉施設向けの防災・避難用品や被災地で役立つ福祉機器を昨年度に引き続き集中展示いたします。
 本年度は、発災から概ね2日間、避難所など安全な場所に身柄を確保されるまでに必要な製品に展示テーマを絞り込み、

- ①「発災」から「一時避難」（初期対応、移動、コミュニケーションなど）に必要な製品
 - ②「一時避難・避難生活関連」（トイレ、マット・毛布・シート、水、食事、電源、照明、暖房、住居など）の製品
- の2つのスペースに区分し、臨場感のある展示とデモンストレーションを行います。

9. 被災地応援コーナー

昨年に引き続き、東日本大震災で特に被害の大きかった東北3県（岩手県、宮城県、福島県）のセルフ（障害者授産施設）の製品を販売いたします。

*特設会場Cのセミナー・デモンストレーション開催予定

6. 福祉機器開発最前線、7. 高齢者世帯向けの向けの手軽な日々の食事、8. ふくしの防災・避難用品コーナーのセミナー・デモンストレーションについては、以下のように開催します。

26日 (水)	10:30~12:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者世帯向けの手軽な 日々の食事		14:30~16:30 ふくしの防災・避難用品 デモンストレーション
27日 (木)	10:30~12:30 ふくしの防災・避難用品 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者世帯向けの手軽な 日々の食事		14:30~16:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション
28日 (金)	10:30~12:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者世帯向けの手軽な 日々の食事		14:30~16:30 ふくしの防災・避難用品 デモンストレーション

※自由参加、先着順にご案内いたします。

注1) はじめての福祉機器選び方・使い方セミナーの副読本は、「基本動作編」「住宅改修編」「自立支援編」の3種類を発刊しています。1冊100円です。

注2) 題名の横に「手話通訳」マークのついたプログラムは、手話通訳を行います。

※注: この内容は平成24年9月5日時点での予定です。内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

H.C.R. 2012 事務局
(財)保健福祉広報協会
 〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F
TEL. 03-3580-3052
FAX. 03-5512-9798
[http : //www.hcr.or.jp](http://www.hcr.or.jp)